

山 梨 県  
商工会地区

# 中小企業景況調査報告書

〔平成30年10月～12月実績〕  
〔平成31年1月～3月予測〕



山梨県商工会連合会

# 目 次

I 調 査 要 領 .....	1
II 景 況	
1. 産業全体の業況概観 .....	2
2. 製造業の動向	
(1) 景 況 概 観 .....	3
(2) 主な項目で見る業況 .....	3
3. 建設業の動向	
(1) 景 況 概 観 .....	6
(2) 主な項目で見る業況 .....	6
4. 小売業の動向	
(1) 景 況 概 観 .....	9
(2) 主な項目で見る業況 .....	9
5. サービス業の動向	
(1) 景 況 概 観 .....	12
(2) 主な項目で見る業況 .....	12

## 【I】 調 査 要 領

### 1. 調 査 対 象

(1) 対象地区 19商工会 (2) 対象企業数 164企業 (3) 回答企業数 164企業

### 2. 調査対象期間

第3四半期 平成30年10月～12月期 「調査時点：平成30年12月1日」

### 3. 調 査 方 法

県内の調査対象企業を19商工会の経営指導員等が訪問面接調査

### 4. 調査対象企業（モニター企業）の商工会別、業種内訳

商工会名	製 造 業	建 設 業	小 売 業	サービ 業	計
都 留 市	3	2	3	4	12
山 梨 市	1	2	2	3	8
大 月 市	2	1	3	2	8
韭 崎 市	2	2	1	2	7
南アルプス市	3	2	4	6	15
北 杜 市	4	2	5	4	15
甲 斐 市	4	3	5	2	14
笛 吹 市	3	2	4	6	15
上 野 原 市	2	1	2	1	6
甲 州 市	3	1	2	3	9
中 央 市	2	1	2	1	6
市川三郷町	2	1	1	2	6
身 延 町	1	1	2	2	6
南 部 町	1	0	1	1	3
富 士 川 町	1	1	1	2	5
昭 和 町	1	1	3	3	8
西 桂 町	0	0	1	1	2
南 都 留 中 部	1	1	2	2	6
河 口 湖	1	1	6	5	13
計	37	25	50	52	164

### 5. そ の 他

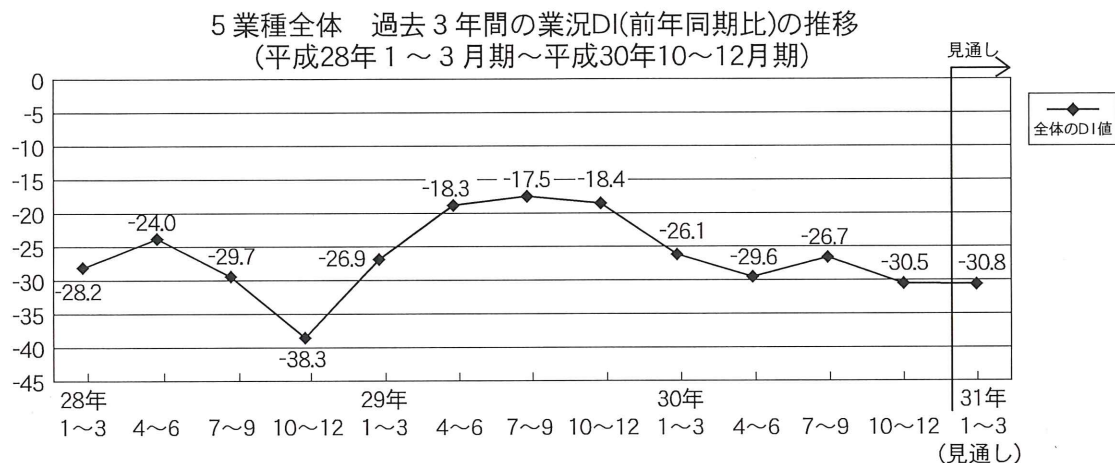
①本報告書のDIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について前年同期と比較して、増加（上昇、好転、長期化等）とする企業割合と、逆に減少（低下、悪化、短期化等）とする企業割合の差を示すものである。

②次頁【II】1. 産業全体の業況概観については、商工会調査企業ばかりでなく、他の本県経済団体調査企業（卸売業を含む）を含んだ285サンプルによるものである。

## 【Ⅱ】 景 況

### 1. 産業全体の業況概観

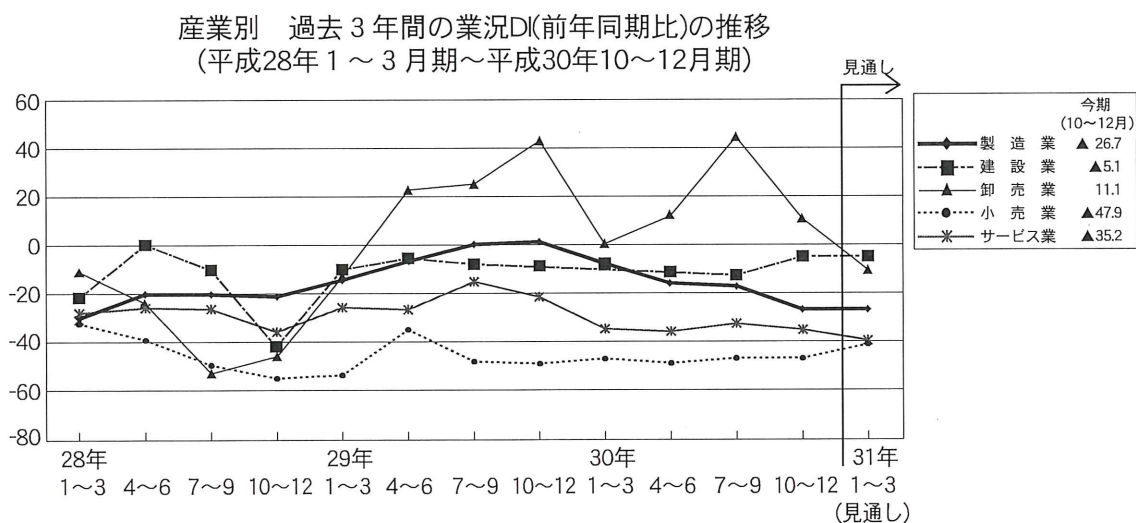
今期の業況判断D Iは、▲30.5と前期比で3.8ポイント悪化している。  
来期についても、▲30.8とやや悪化する見通しである。



次に、前年同期比でみた過去3年間の産業別の業況判断D Iである。

建設業が▲5.1と前期比で7.7ポイント改善している。一方、製造業が▲26.7と前期比で9.4ポイント、卸売業が11.1と前期比で33.3ポイント、小売業が▲47.9と前期比で1.4ポイント、サービス業が▲35.2と3.0ポイント悪化している。

来期は、製造業、小売業が改善見通しである一方、建設業、卸売業、サービス業が悪化見通しである。



【注記】 上記、産業全体の業況概観については、商工会調査対象164企業に甲府・富士吉田地域等からの121企業を含めた285サンプルを使用。卸売業については、中小企業基盤整備機構調査によるデータのみを使用。次ページからの産業別景況D Iについては、商工会地区企業のサンプル分析に基づくものである。

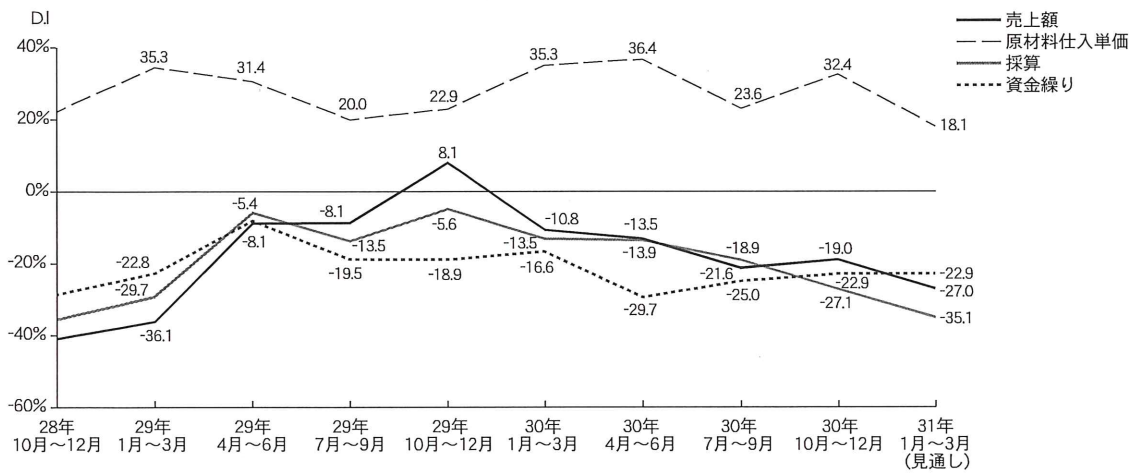
## 2. 製造業の動向

### (1) 景況概観

売上額D Iは、今期は▲19.0と前期比で2.6ポイント改善している。一方、来期は▲27.0と悪化見通しである。原料仕入単価D Iは、今期は32.4と前期比で8.8ポイント上昇（悪化）している。一方、来期は18.1と低下（改善）する見通しである。採算D Iは、今期は▲27.1と前期比で8.2ポイント悪化している。来期は▲35.1と更に悪化する見通しである。資金繰りD Iは、今期は▲22.9と前期比で2.1ポイント改善している。来期は▲22.9と横ばい見通しである。

今期は、売上額D I、資金繰りD Iが改善した一方、原材料仕入単価D I、採算D Iが悪化している。来期は、売上額D I、採算D Iが悪化見通しである。特に、採算D Iが悪化傾向にある。

山梨県 製造業 主要景況項目の推移－前年同期比－

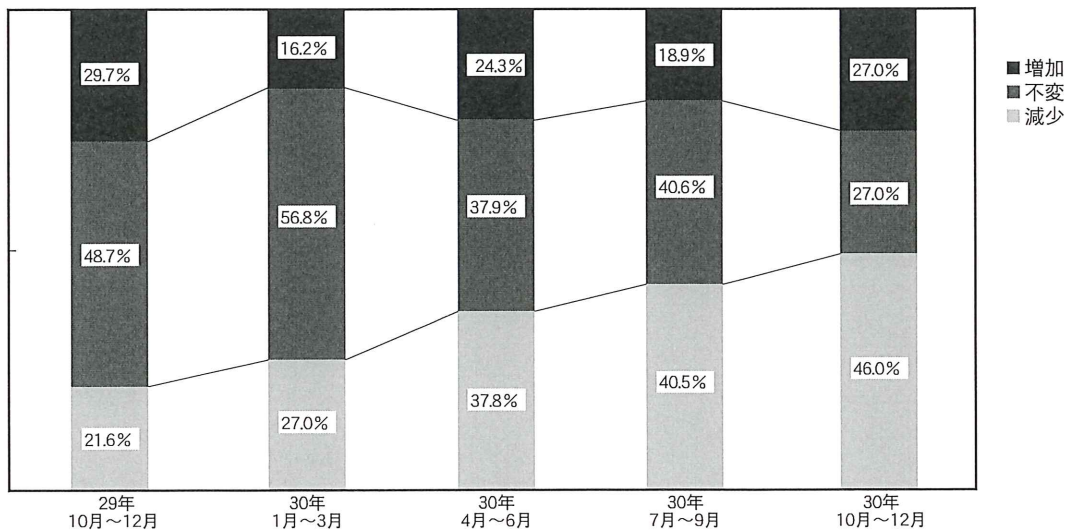


### (2) 主な項目で見る業況

#### ① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数37社））

「増加」と答えた企業の割合は、27.0%（10社）と増加（前期比+3社）している。「不変」は27.0%（10社）と減少（前期比▲5社）、「減少」は46.0%（17社）と増加している（前期比+2社）。

山梨県 製造業 売上額の状況－前年同期比－



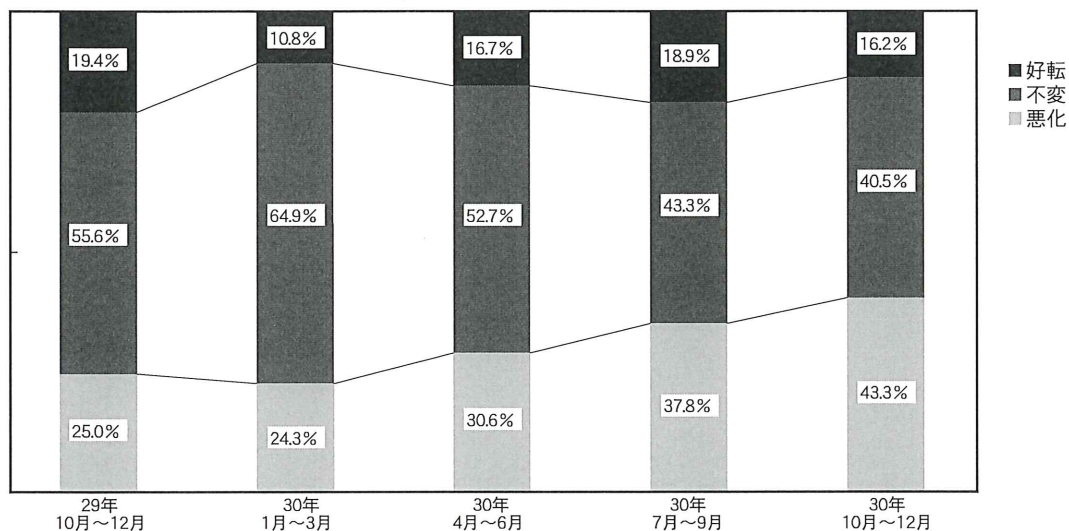
② 採算（採算D Iの内容（回答企業数37社））

※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、16.2%（6社）と減少している（前期比▲1社）。

「不変」は40.5%（15社）と減少（前期比▲1社）、「悪化」は43.3%（16社）と増加している（前期比+2社）。

山梨県 製造業 採算の状況－前年同期比－

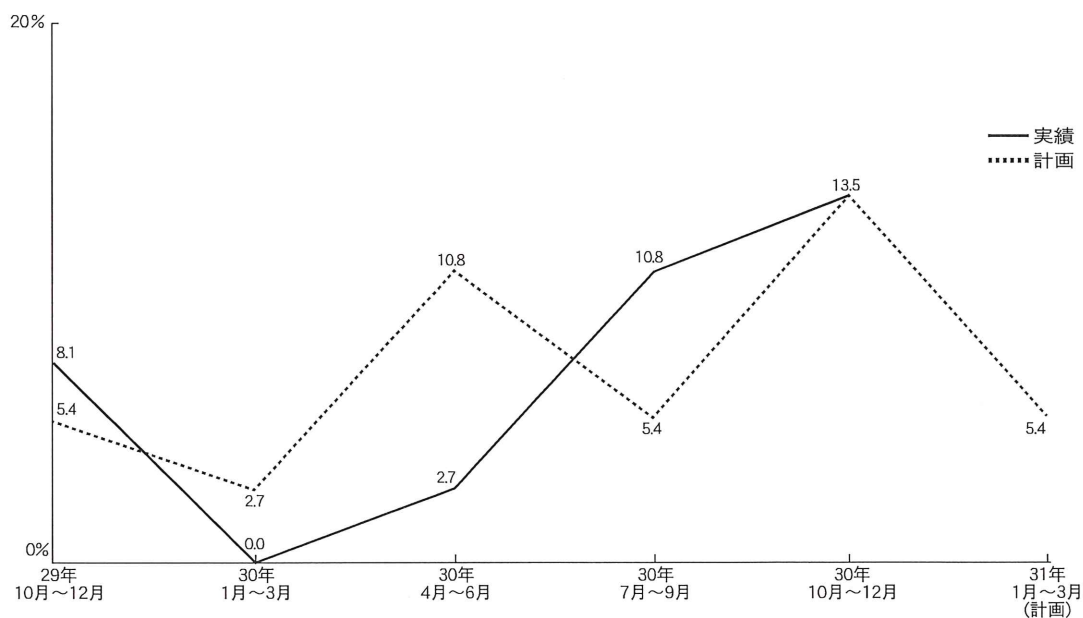


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数37社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は13.5%（5社）であった。その設備投資の内容は、「生産設備」が3件、「車両・運搬具」、「工場建物」が1件ずつになる。

来期の計画については、5.4%（2社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「生産設備」が2件、「車両・運搬具」が1件になる。

山梨県 製造業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数31社）

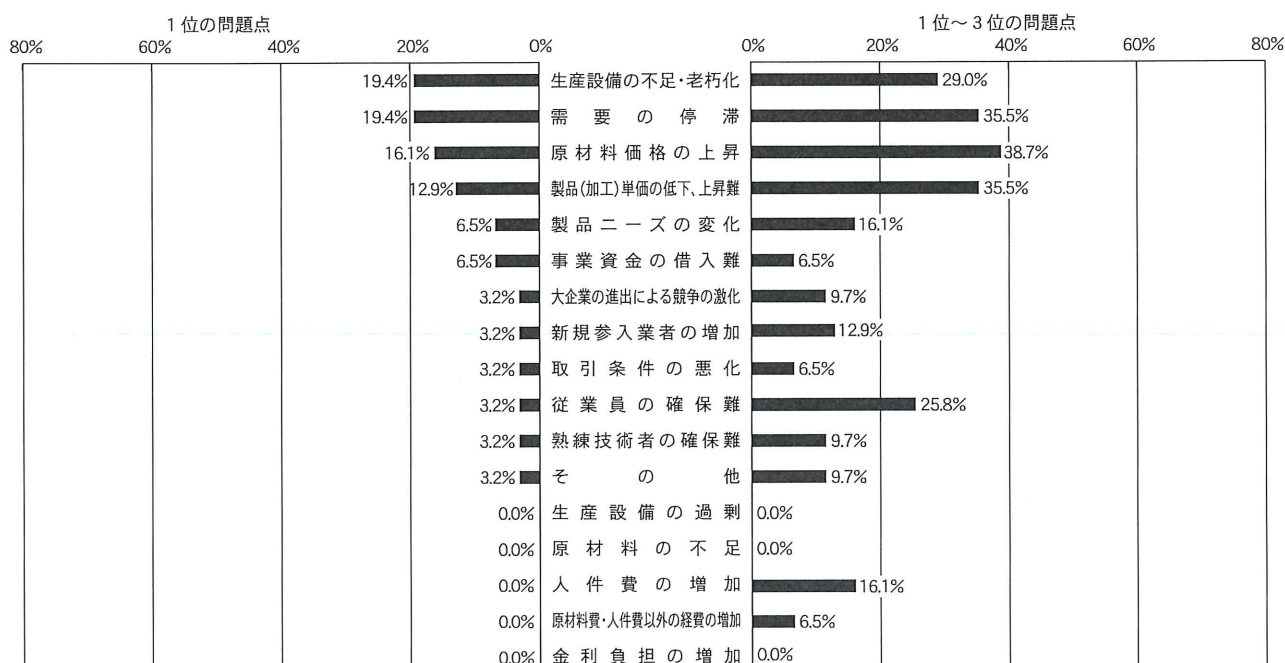
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「生産設備の不足・老朽化」、「需要の停滞」の19.4%（6社）であり、2番目は、「原材料価格の上昇」の16.1%（5社）である。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは、「原材料価格の上昇」の38.7%（12社）であり、2番目は、「需要の停滞」、「製品（加工）単価の低下、上昇難」の35.5%（11社）である。

山梨県 製造業 経営上の問題点の状況



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
食料品製造業	6	16.2
飲料・飼料・たばこ製造業	1	2.7
衣服・その他繊維製品製造業	0	0.0
印刷・同関連業	3	8.1
化学工業	1	2.7
プラスチック製品製造業	4	10.8
金属製品製造業	2	5.4
一般機械器具製造業	14	37.8
電気機械器具製造業	2	5.4
輸送用機械器具製造業	0	0.0
その他製造業	4	10.8
合計	37	100.0

従業員規模別

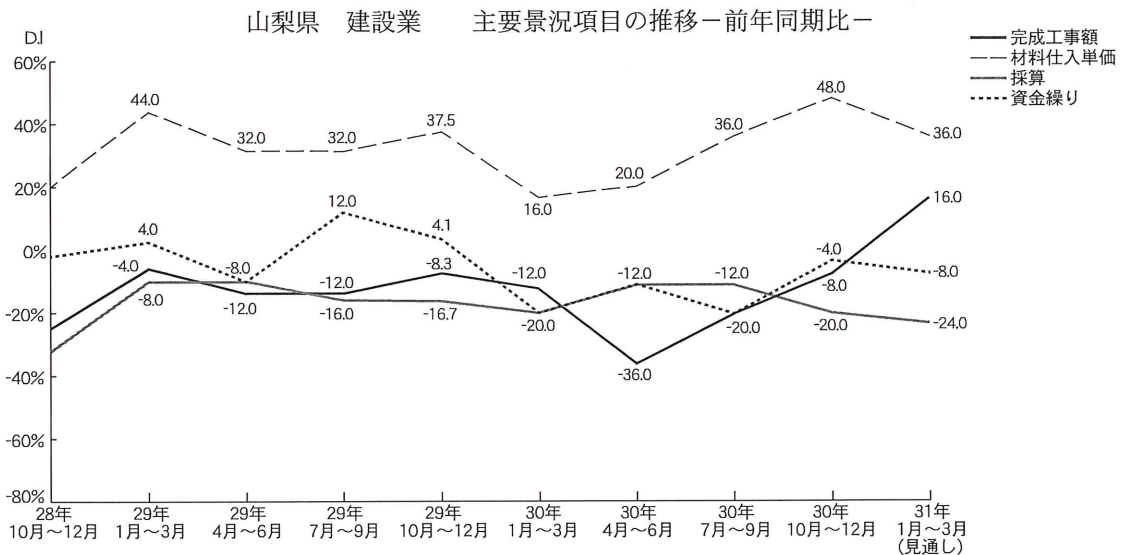
従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い	臨時等含む	常雇い	臨時等含む
	企業数(%)	構成比(%)	企業数(%)	構成比(%)
2人以下	22	59.5	18	48.6
3人～5人以下	6	16.2	5	13.5
6人～10人以下	6	16.2	10	27.0
11人～20人以下	3	8.1	4	10.8
合計	37	100.0	37	100.0

### 3. 建設業の動向

#### (1) 景況概観

完成工事額D Iは、今期は▲8.0と前期比12.0ポイント改善している。来期は16.0と更に改善する見通しである。材料仕入単価D Iは、今期は48.0と前期比12.0ポイント上昇（悪化）している。一方、来期は36.0と低下（改善）見通しである。採算D Iは、今期は▲20.0と前期比8.0ポイント悪化している。来期は▲24.0と更に悪化する見通しである。資金繰りD Iは、今期は▲4.0と前期比16.0ポイント改善している。一方、来期は▲8.0と悪化する見通しである。

今期は、完成工事額D I、資金繰りD Iが改善している一方、材料仕入単価D I、採算D Iが悪化している。来期は、完成工事額D I、材料仕入単価D Iが改善する見通しである。特に、完成工事額D Iが改善傾向にある。

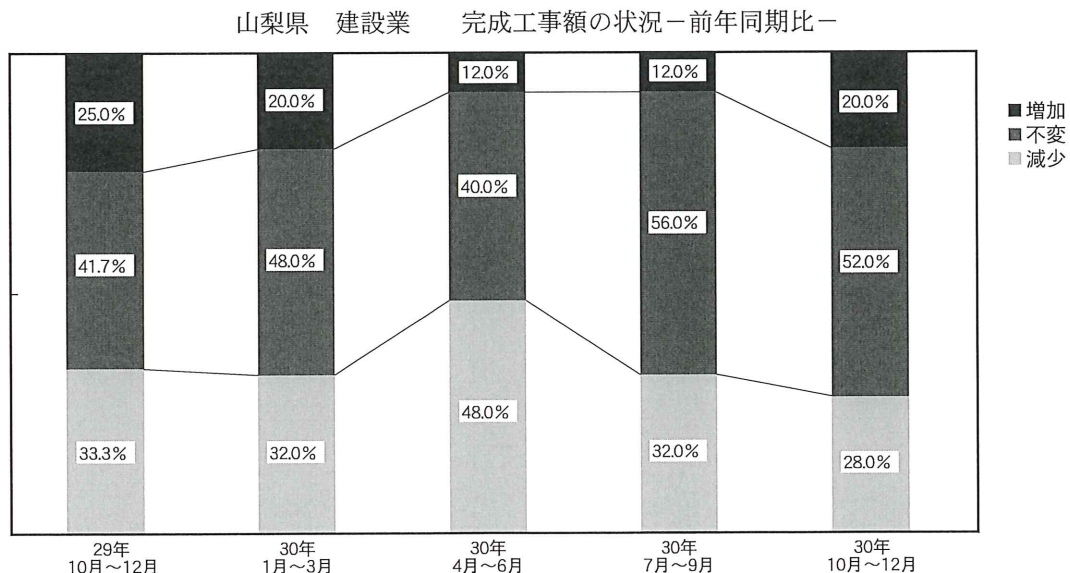


#### (2) 主な項目で見る業況

##### ① 完成工事額（完成工事額D Iの内容（回答企業数25社））

「増加」と答えた企業の割合は、20.0%（5社）と増加（前期比+2社）。

「不変」は52.0%（13社）と減少（前期比▲1社）、「減少」は28.0%（7社）と減少している（前期比▲1社）。





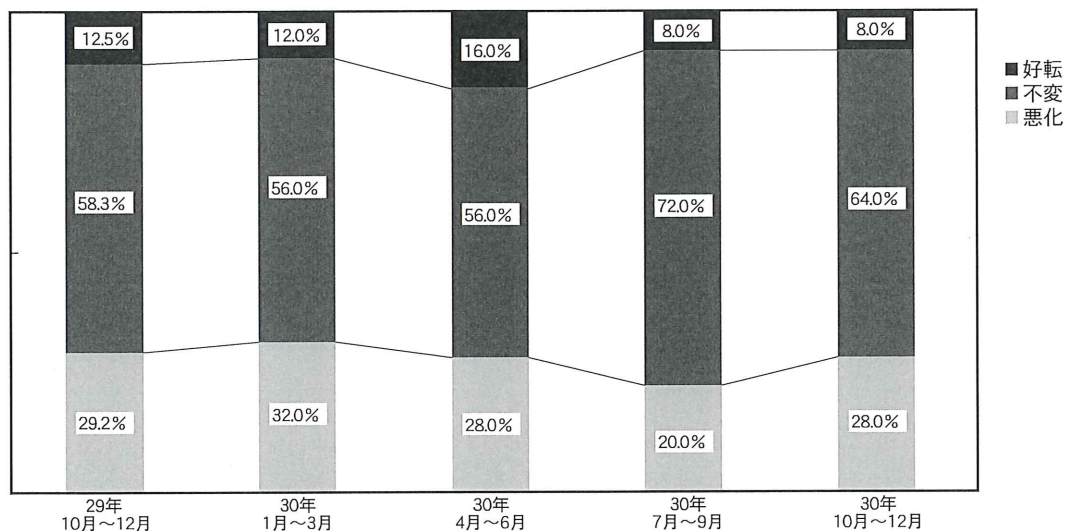
② 採算（採算D Iの内容（回答企業数25社））

※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、8.0%（2社）と横ばい。

「不変」は64.0%（16社）と減少（前期比▲2社）、「悪化」は28.0%（7社）と増加している（前期比+2社）。

山梨県 建設業 採算の状況－前年同期比－

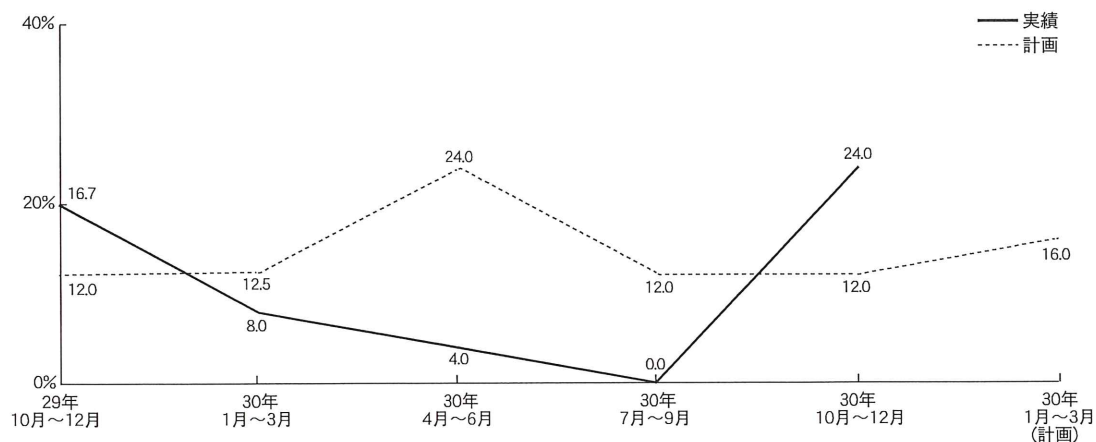


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数25社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は24.0%（6社）であった。その設備投資の内容は、「建物」、「車両運搬具」が3件ずつ、「付帯施設」が2件、「OA機器」が1件になる。

来期の計画については、16.0%（4社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「土地」が2件、「車両運搬具」、「OA機器」が1件ずつになる。

山梨県 建設業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数23社）

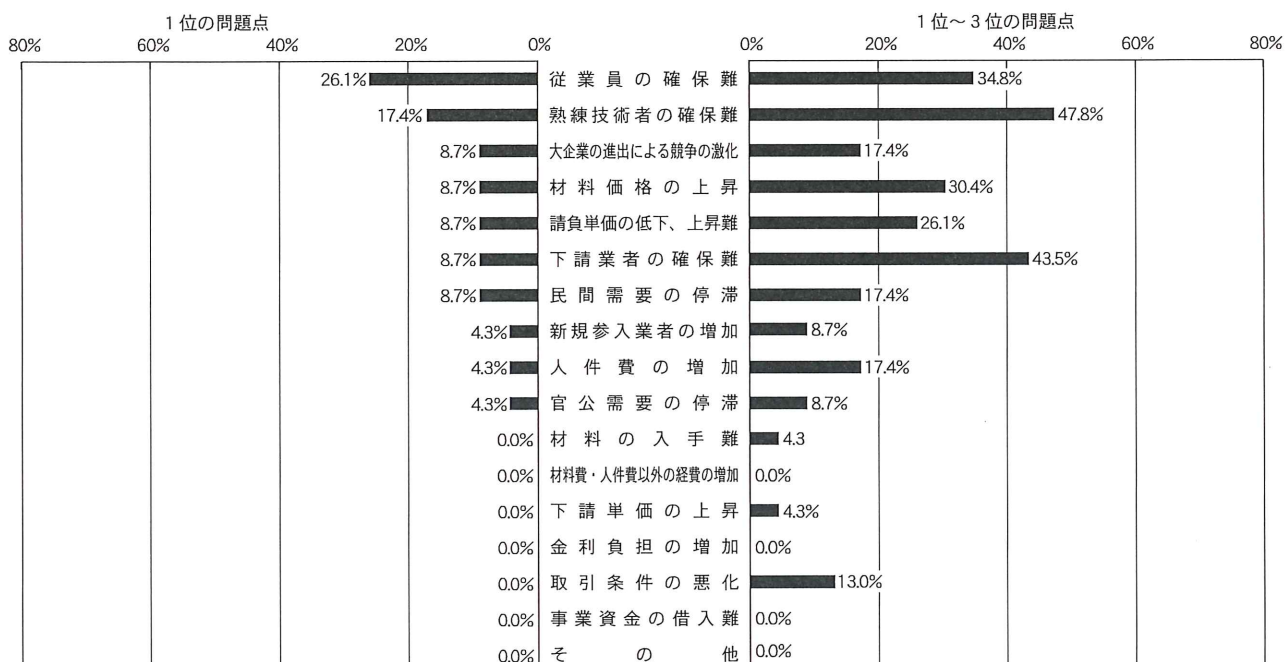
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「従業員の確保難」の26.1%（6社）であり、2番目に多かったのは、「熟練技術者の確保難」の17.4%（4社）である。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは、「熟練技術者の確保難」の47.8%（11社）であり、2番目に多かったのは、「下請業者の確保難」の43.5%（10社）である。

山梨県 建設業 経営上の問題点の状況



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
総合工事業	19	76.0
職別工事業	4	16.0
設備工事業	2	8.0
合計	25	100.0

従業員規模別

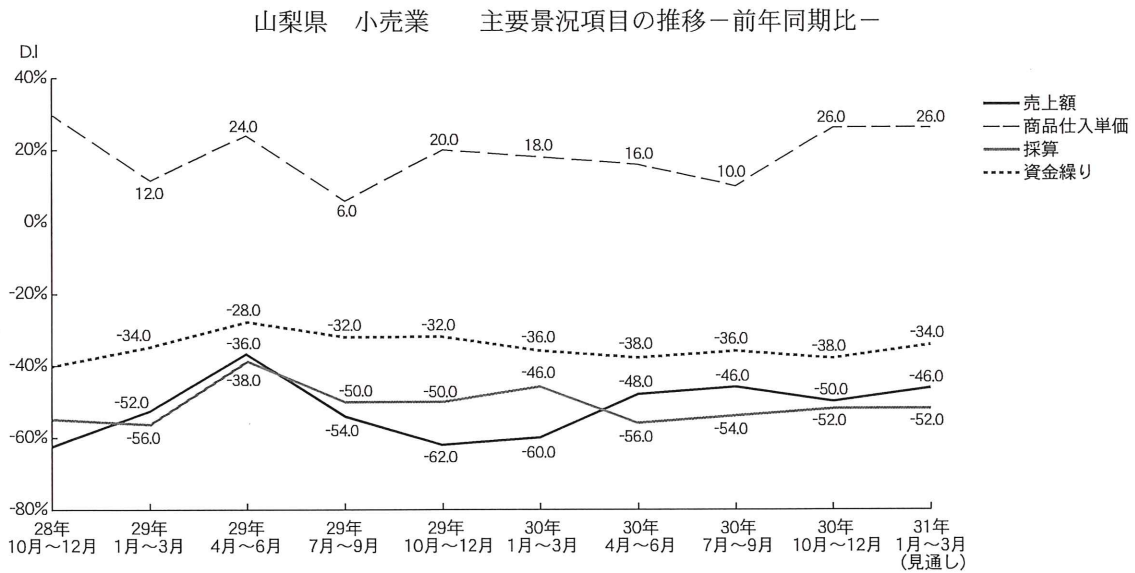
従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い	臨時等含む	常雇い	臨時等含む
	企業数(%)	構成比(%)	企業数(%)	構成比(%)
2人以下	9	36.0	8	32.0
3人～5人以下	7	28.0	8	32.0
6人～10人以下	4	16.0	4	16.0
11人～20人以下	5	20.0	5	20.0
合計	25	100.0	25	100.0

## 4. 小売業の動向

### (1) 景況概観

売上額D Iは、今期は▲50.0と前期比で4.0ポイント悪化している。一方、来期は▲46.0と改善する見通しである。商品仕入単価D Iは、今期は26.0と前期比で16.0ポイント上昇（悪化）している。来期は26.0と横ばい見通しである。採算D Iは、今期は▲52.0と前期比で2.0ポイント改善している。来期は▲52.0と横ばい見通しである。資金繰りD Iは、今期は▲38.0と前期比で2.0ポイント悪化している。一方、来期は▲34.0と改善する見通しである。

今期は、採算D Iを除いて悪化している。来期は、全てのD Iが改善、あるいは、横ばい見通しである。

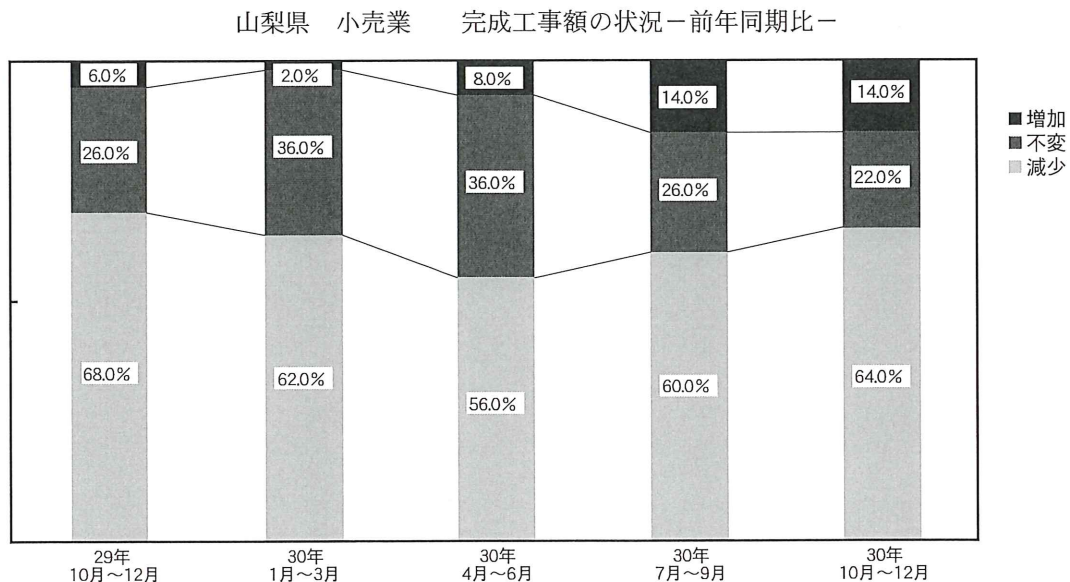


### (2) 主な項目で見る業況

#### ① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数50社））

「増加」と答えた企業の割合は、14.0%（7社）と横ばい。

「不変」は22.0%（11社）と減少（前期比▲2社）、「減少」は64.0%（32社）と増加している（前期比+2社）。



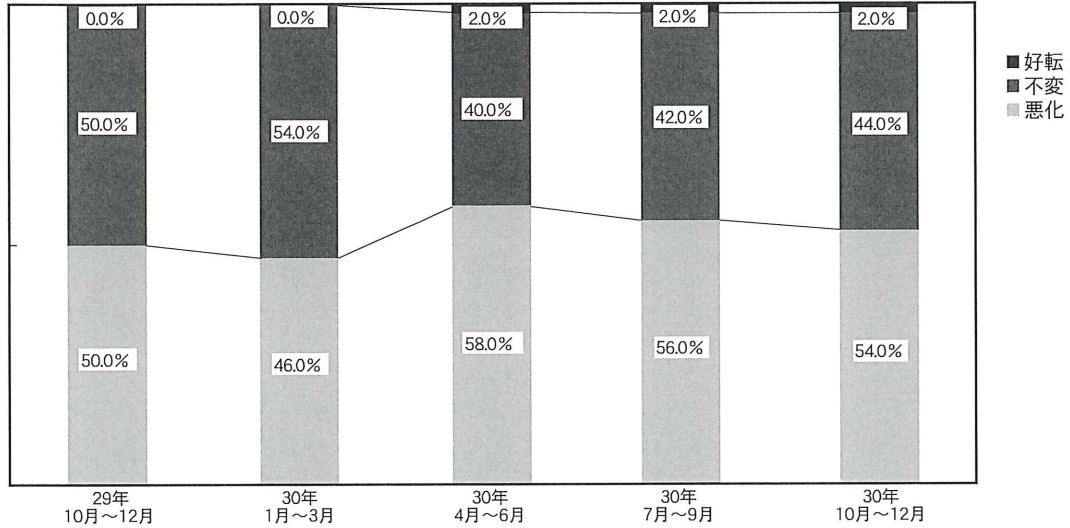
② 採算（採算D Iの内容（回答企業数50社））

※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、2.0%（1社）と横ばい。

「不変」は44.0%（22社）と増加し（前期比+1社）、「悪化」は、54.0%（27社）と減少している（前期比▲1社）。

山梨県 小売業 採算の状況－前年同期比－

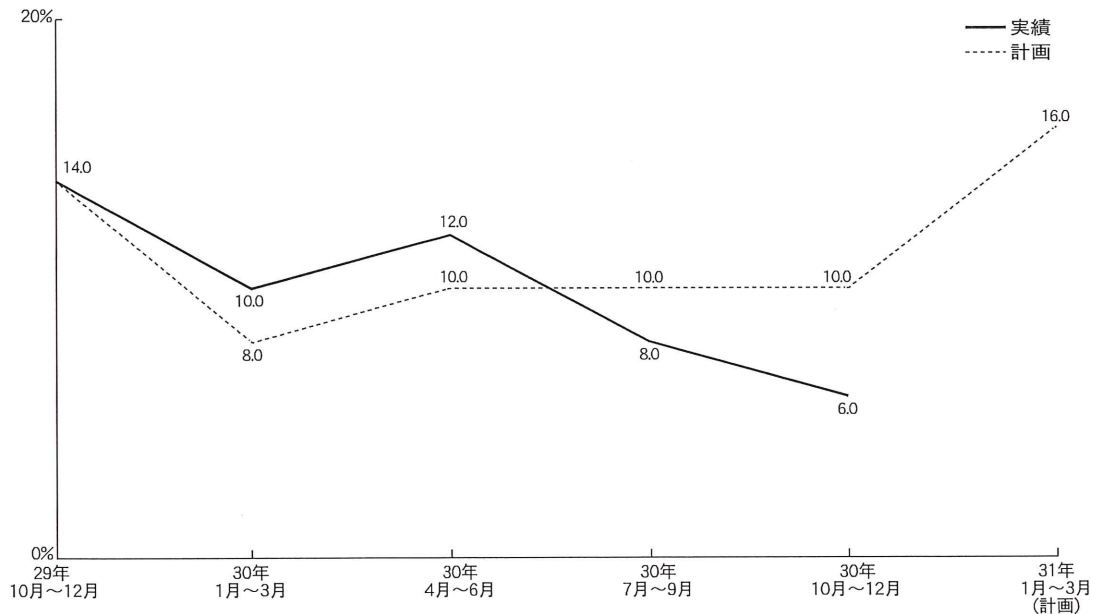


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数50社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は6.0%（3社）であった。その設備投資の内容は、「その他」が2件、「車両・運搬具」が1件であった。

来期の計画については、16.0%（8社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「付帯施設」、「OA機器」が3件ずつ、「販売設備」、「その他」が2件ずつ、「店舗」が1件になる。

山梨県 小売業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数47社）

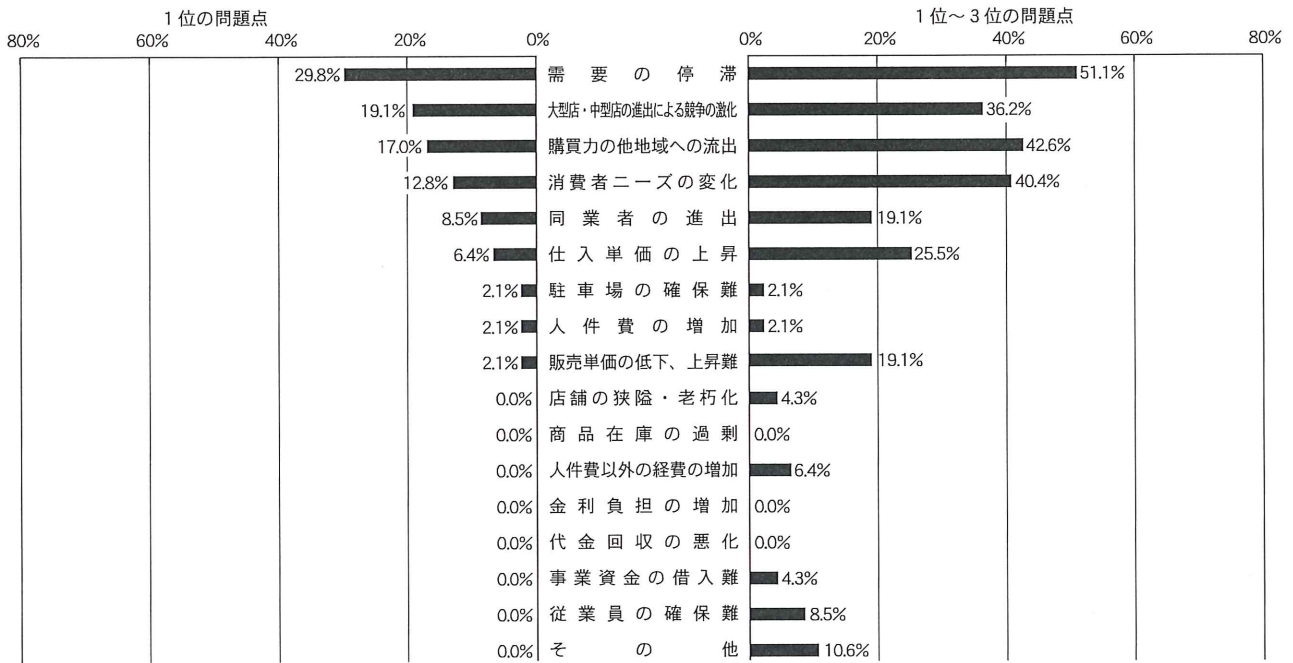
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の29.8%（14社）であり、2番目に多かったのは、「大型店・中型店の進出による競争の激化」の19.1%（9社）である。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の51.1%（24社）であり、2番目に多かったのは、「購買力の他地域への流出」の42.6%（20社）である。

山梨県 小売業 経営上の問題点の状況



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
各種商品小売業	0	0.0
織物・衣服・身の回り品小売業	12	24.0
飲食物品小売業	17	34.0
自動車・自転車小売業	2	4.0
家具・建具・じゅう器小売業	4	8.0
その他小売業	15	30.0
合計	50	100.0

従業員規模別

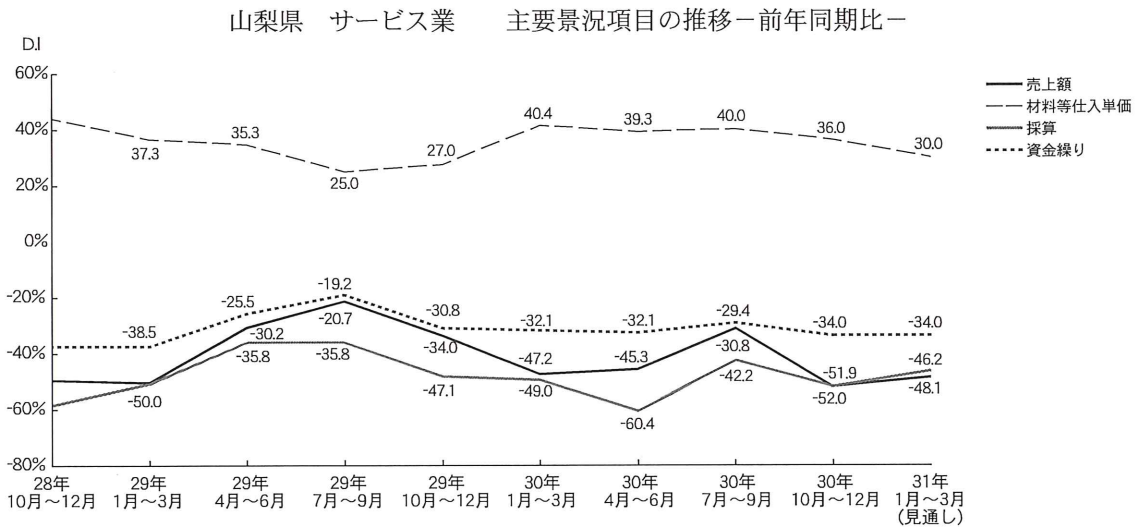
従業員数	常 雇 い		臨時等含む	
	企業数(%)	構成比(%)	企業数(%)	構成比(%)
2人以下	45	90.0	39	78.0
3人～5人以下	5	10.0	11	22.0
6人～10人以下	0	0.0	0	0.0
11人～20人以下	0	0.0	0	0.0
合計	50	100.0	50	100.0

## 5. サービス業の動向

### (1) 景況概観

売上額D Iは、今期は▲52.0と前期比で21.2ポイント悪化している。一方、来期は▲46.2と改善する見通しである。材料仕入単価D Iは、今期は36.0と前期比で4.0ポイント低下（改善）している。来期は30.0と更に低下（改善）する見通しである。採算D Iは、今期は▲51.9と前期比で9.7ポイント悪化している。一方、来期は▲48.1と改善する見通しである。資金繰りD Iは、今期は▲34.0と前期比で4.6ポイント悪化している。来期は▲34.0と横ばい見通しである。

今期は、材料仕入単価D Iを除いて悪化している。一方、来期は、全てのD Iが改善、あるいは、横ばい見通しである。

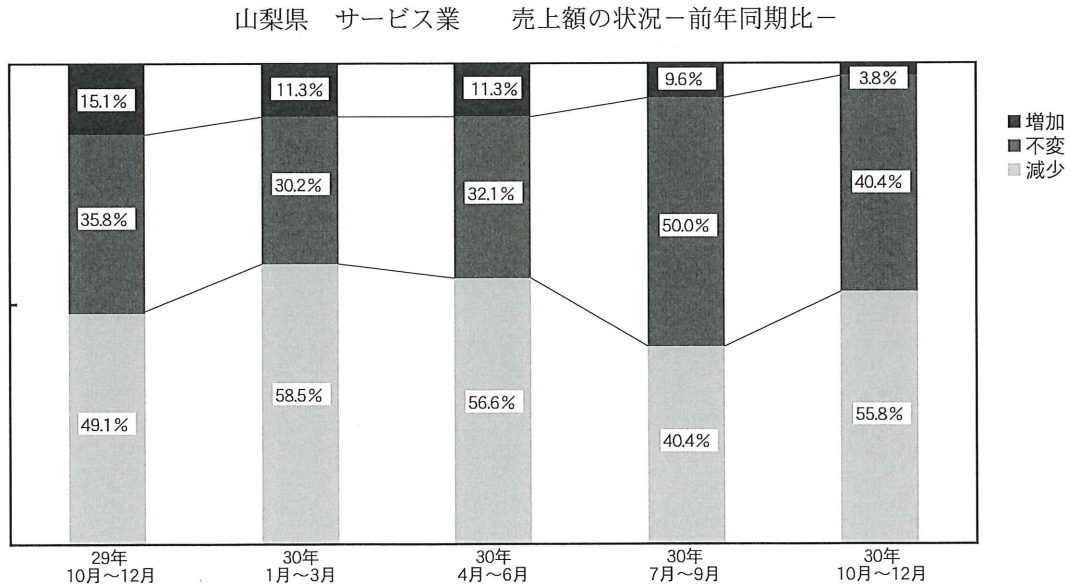


### (2) 主な項目で見る業況

#### ① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数52社））

「増加」と答えた企業の割合は、3.8%（2社）と減少している（前期比▲3社）。

「不変」は40.4%（21社）と減少（前期比▲5社）、「減少」は55.8%（29社）と増加している（前期比＋8社）。



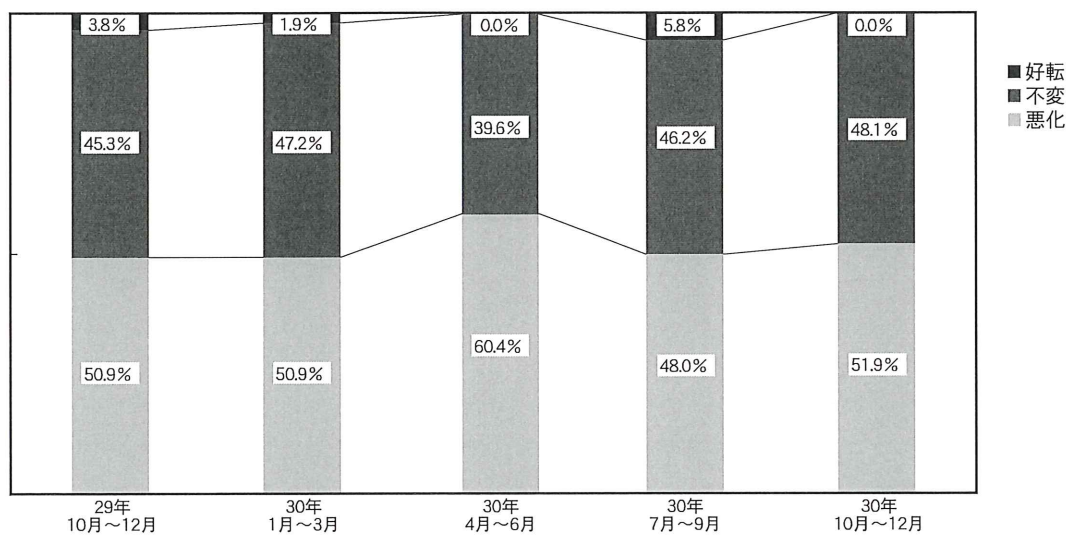
② 採算（採算D Iの内容（回答企業数52社））

※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、0.0%（0社）と減少している（前期比▲3社）。

「不変」は48.1%（25社）と増加し（前期比+1社）、「悪化」は51.9%（27社）と増加している（前期比+2社）。

山梨県 サービス業 採算の状況－前年同期比－

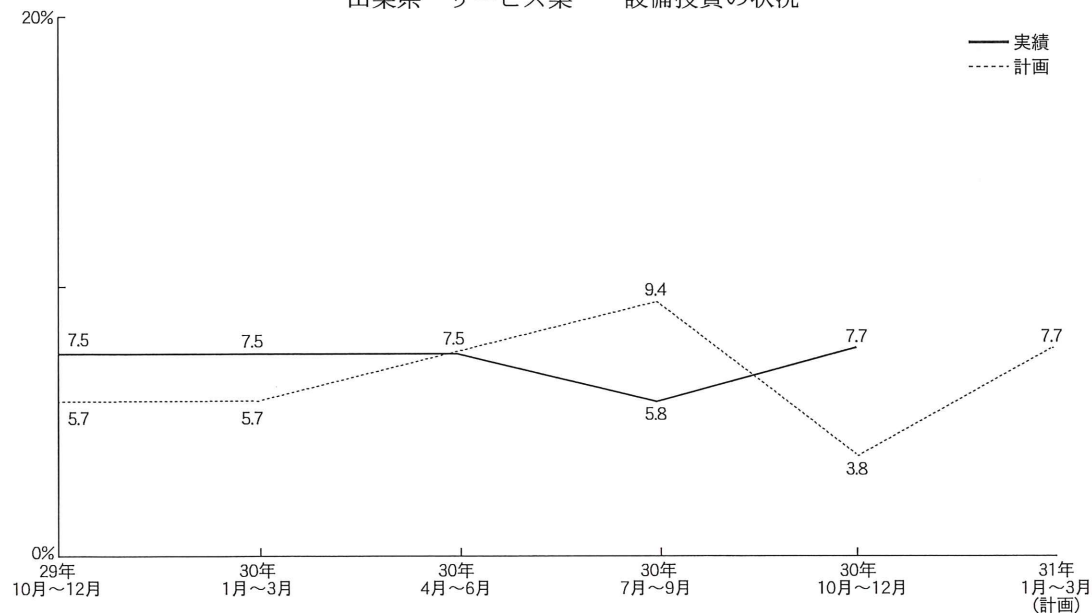


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数52社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は7.7%（4社）であった。その設備投資の内容は、「その他」が2件、「付帯施設」、「OA機器」が1件ずつであった。

来期の計画については、7.7%（4社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」が2件、「建物」、「サービス」、「付帯施設」、「OA機器」が1件ずつになる。

山梨県 サービス業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数49社）

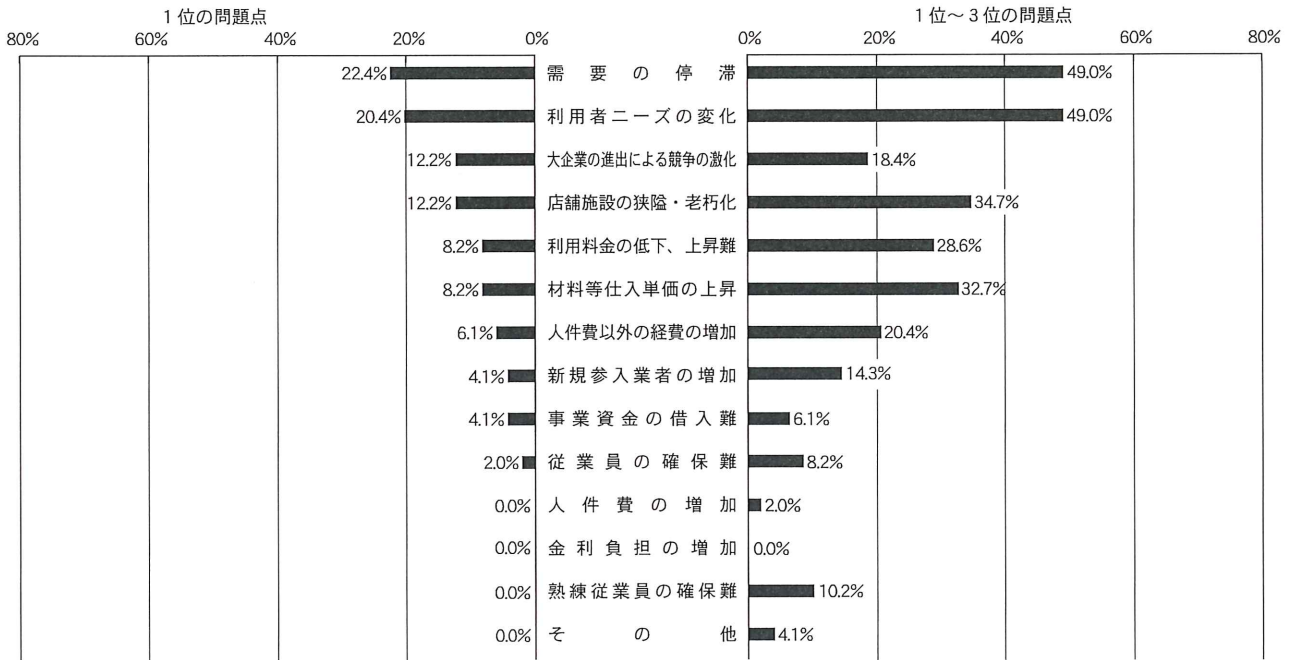
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の22.4%（11社）であり、2番目に多かったのは、「利用者ニーズの変化」の20.4%（10社）である。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」、「利用者ニーズの変化」の49.0%（24社）であり、2番目に多かったのは、「店舗施設の狭隘・老朽化」の34.7%（17社）である。

山梨県 サービス業 経営上の問題点の状況



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
一般飲食店（一般・遊興）	18	34.6
宿泊業	7	13.5
運送業	2	3.8
自動車整備業	3	5.8
洗濯・理美容業	19	36.5
その他のサービス業	3	5.8
合計	52	100.0

従業員規模別

従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い			
	企業数(%)	構成比(%)	企業数(%)	構成比(%)
2人以下	44	84.6	41	77.4
3人～5人以下	8	15.4	12	22.6
6人～10人以下	0	0.0	0	0.0
11人～20人以下	0	0.0	0	0.0
合計	52	100.0	53	100.0